

臨床研究「画像誘導放射線治療に伴う被ばくが正常組織障害発生確率に及ぼす影響」について

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究は、位置照合精度を向上する目的で実施される画像誘導放射線治療（IGRT）において、画像取得に伴う臓器ごとの被ばく線量を推定し、治療線量と合算した際の線量分布および正常臓器の障害発生確率（NTCP）の変化を明らかにする目的で実施します。

② 研究対象者

2014年4月1日から2017年3月31日までに、頭頸部がん（上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん）、もしくは前立腺がんに対して強度変調放射線治療（IMRT）を受けた患者様。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年3月31日まで

④ 研究の方法

治療計画用に撮影されたCT画像を用いて、治療計画装置とモンテカルロシミュレーションからIGRTに伴う臓器線量と線量分布を取得します。臓器線量の評価は、各臓器内の最大線量Dmax、最低線量Dmin、平均線量Dmeanなどから行い、線量分布は、線量集中度（comformity index）や線量均一性（homogeneity index）などから行います。最終的に、IGRTに伴う臓器線量を取得し、治療線量と合算して数式処理ソフトウェアを用いて各臓器におけるNTCPを算出します。本研究は、株式会社千代田テクノルの研究資金により行われますが、利益相反はありません。

⑤ 試料・情報の項目

年齢、性別、診断名、病理組織名、病期、治療内容、放射線エネルギー、照射部位、照射線量・回数、照射ビームの設定条件、照射野の形状、診療画像・撮影条件、放射線障害の程度など。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

該当なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 放射線腫瘍科教授 櫻井英幸

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者様やご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：医学医療系 臨床医学域 放射線腫瘍科・磯辺智範

電話：029-853-7100（医学物理グループ 平日 9:00-17:00）